

事業概要整理シート

担当部課等名	産業部商工観光課	評価責任者職・氏名	商工観光課長 神谷 友久
担当係名	商工労政係	シート作成者	原田 克義

実施計画事業名	チャレンジとよかわ活性化事業
事業の概要	①創業支援事業(とよかわ創業・起業支援ネットワークで特定創業支援事業の認定を受けた者が、市内で新たに創業または既存の事業以外の新たな事業の起ち上げに係る支援) ②ブランド推進支援事業(市内の中小企業者等が地域ブランドの促進を図るために新たに取組む事業への支援) ③中小企業支援事業(愛知県知事から経営革新計画の認定を受けた中小企業者が新たに経営展開に取組む事業への支援) ④イベント支援事業(商店街振興組合等の法人格のある商工業団体等が、市内産業の活性化を図るために行うにぎわいのある街づくりに寄与する事業への支援)

1 活動内容

	平成27年度	平成28年度予定
活動内容や実施方法・体制	(平成28年度 新規事業)	創業、ブランド推進、経営革新、新たに実施するイベントへの取組に対する支援 ①創業支援事業: 1,000千円×14件 ②ブランド推進支援事業: 500千円×4件 ③中小企業支援事業、④イベント支援事業: 500千円×8件

2 事業費と活動量等

			平成27年度		平成28年度
			予算	決算	予算
事業費(千円)			0	0	20,000
指標名		単位	目標(予算)	実績(決算)	目標(予算)
活動量	従業者4人以上30人未満の製造業の事業所数	事業所	0	0	17
	店舗等の事業所数	事業所	0	0	17
成果	従業者4人以上30人未満の製造業の事業所数	事業所	0	0	17
	店舗等の事業所数	事業所	0	0	17

3 活動に対する自己評価・意見

	自己評価コメント
必要性評価 (目標実現に向けたこれまでの手段の妥当性)	・第6次総合計画において「工業の振興」及び「商業の振興」における目標値に事業所数の減少を食い止め、市内における事業所が持続可能な経営を展開できることを目標に掲げており、市内の商工業の振興については地域経済の活性化に寄与する支援策の継続的な実施が必要である。
効率性評価 (効率的・効果的な事業遂行に向けた工夫)	・本補助事業において、「特定創業支援事業計画」に基づいた各機関による指導、「経営革新計画」の認定を受ける事など地域における経営支援を実施している各機関による指導等を受けることを補助の要件としているが、各個店が持続可能な経営の実施を目的とした制度設計となっているため、継続した効果を生み出すことを目的とした事業の実施が可能である。また各個店の支援とともに、各地域の団体によって行われるイベントへの支援、さらに豊川市全体で取り組んでいる地域ブランド確立について一翼を担うことにより、様々な角度から事業所ひいては市内の商工業を支援することにつながるため、効果的な事業の実施が可能となる。
有効性評価 (成果の評価/得られた成果に対する自己評価)	・資金面における支援は経営支援の側面において非常に有効であるとともに、資金面の支援だけではなく、計画策定時において各支援機関で実施される指導等の支援メニューが提供される等、経営にかかるソフト面の支援が行われることにより、持続可能な経営の実施を目的とした制度設計となっているとともに、地域ブランド活用促進等、各個店の直接的な支援だけでなく賑わいづくりによる市内における商工業の振興に有効である。

4 事業の問題点や課題

・本市における製造品出荷額、製造業事業所数、卸売業・小売業年間商品販売額、店舗の事業所がいずれも減少傾向にあり、市内における商工業の規模が縮小傾向にある。今後人口減少に伴って自治体間で住民又は企業等の経営資源を獲得するための競争が激化することが予想されるが、本市内における企業等の経営資源を確保するために、「とよかわ創業・起業支援ネットワーク」を活用した市内における創業、地域ブランドを活用した事業展開、「経営革新計画」を活用した持続可能な経営展開、「やる気満々商店街等補助事業」の実施により機運が高まってきた地域の商工業者による自らの手によって立ちあげるイベントに対して支援策が必要であるため、資金調達に対するニーズ、特に補助金による資金調達面における支援の充実が必要である。

5 議論のポイント

ポイント①	制度活用への取組み
内容	平成28年9月8日現在で、相談件数23件(創業11件、ブランド:2件、中小企業4件、イベント:6件)、交付決定数6件(創業3件、ブランド:0件、中小企業2件、イベント:1件)という状況であるが、今後、制度の周知や活用についてどのような取組みを行うのか。
意見等整理欄	

ポイント②	他政策との連携
内容	創業支援における空家・空き店舗の活用や、ブランド推進におけるシティセールスとの連携、商工農及び観光振興政策の連携、その他事業や政策との連携はどのような状況か。
意見等整理欄	

ポイント③	官民連携
内容	専門的見地からの助言や資金面での支援について、商工会議所や金融機関と連携しているが、新たな事業主体の掘り起こしやフォローアップに関する今後の連携について。
意見等整理欄	

ポイント④	地域特性をふまえて狙う市場や将来像
内容	市の事業として特定の市場や業種を狙うことが難しい面はあるが、国からは地域の特徴を出すように求められている。豊川市として狙うべき市場や目指すべき将来像、また、新たに考えられる仕掛けなどについて。
意見等整理欄	

ポイント⑤	
内容	
意見等整理欄	